

令和 7 年 11 月 5 日

報道機関 各位

伏木のまちでやってみたいこと できそうなことを話し合おう ～第2回 伏木のミライを考える、まちづくり懇談会～

富山大学簀谷研究室・東京科学大学真野研究室は、能登半島地震により大きな液状化被害を受けた伏木地区の復興に向けて、これまでさまざまな活動を行ってきました。今年の7月および8月には、今後の伏木地区の復興について考える「第1回まちづくり懇談会」を開催しました。このたび、第1回で出されたアイデアをもとに、まちづくり構想案の策定に向けた具体的な取り組みについて話し合う「第2回まちづくり懇談会」を開催します。

つきましては、本件について取材・報道方よりしくお取り計らい願います。

記

- 日時 令和 7 年 11 月 5 日（水） 19 時 00 分～ 20 時 30 分
令和 7 年 11 月 8 日（土） 15 時 00 分～ 16 時 30 分
令和 7 年 11 月 9 日（土） 10 時 00 分～ 11 時 30 分
- 場所 伏木コミュニティセンター（高岡市伏木湊町 13 ー1）
- 内容 第1回で出た伏木の魅力や課題、「こんなことをやってみたい!」という意見をもとに、伏木のまちで、取り組みそうなテーマを設定します。設定したテーマをもとに、「自分ならこんなことができそう」といったアイデアを出し合い、伏木のまちで具体的に行ってみたい活動を話し合います。
※詳細は別紙をご覧ください。
- 主催 富山大学簀谷研究室、東京科学大学真野研究室

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 学術研究部 芸術文化学系 講師 簀谷祐介
TEL : 0766-25-9200 Email : yabutani@tad.u-toyama.ac.jp

伏木のまちでやってみたいこと できそうなことを話し合おう

～第2回 伏木のミライを考える、まちづくり懇談会～

開催の詳細

日時	2025	11.5 (水)	19:00～20:30
		11.8 (土)	15:00～16:30
		11.9 (日)	10:00～11:30

場所	高岡市伏木 コミュニティセンター 2F 大会議室 (高岡市伏木湊町13-1)
----	--

どなたでも歓迎です。たくさんのご参加
お待ちしております！

参加
無料

申込
不要

※3日間とも、同じ内容で開催します。

第1回懇談会では、みなさんの声をもとに、液状化の被害状況や伏木地区の魅力について共有し、復興に向けてできることを話し合ってきました。

第2～4回懇談会では、これまで出されたアイデアをまちづくり構想案へと発展させるための橋渡しの段階です。構想を実際に実現していくためには、より具体的な検討が欠かせません。

これからの懇談会では、伏木地区の将来像とみなさんの活動を結びつける話し合いを進めていきます。ぜひ一緒に、伏木地区の未来を形づくっていきましょう！

懇談会について

第1回 伏木のまちを見つめ直してみよう

今回ココ!!

第2回 伏木のまちでやってみたいこと できそうなことを話し合おう

第3回 興味のあるテーマに分かれて、 やりたい活動と将来像を考えよう

興味のある人同士でグループに分かれて、具体的にどのような活動に取り組めそうか、またその活動が実現することでどんな伏木の未来に繋がるのかを話し合います。

第4回 まちづくり構想案について話し合おう

3回目までの懇談会を踏まえて、伏木のまちの未来の構想案のたたき台を作成します。これに対して、住民の皆さまとともに意見交換を行います。

当日の流れ

第2回懇談会では、第1回で出た伏木の魅力や課題、「こんなことをやってみたい!」という意見をもとに、伏木のまちで、取り組めそうなテーマを設定します。設定したテーマをもとに、「自分ならこんなことができそう」といったアイデアを出し合い、伏木のまちで具体的にやってみたい活動を話し合います。



2025年10月9日 発行

見られ!

伏木のミライを考える

第1号

伏木復興まちづくりニュース

伏木地区の復興に向け、2025年度 第1回まちづくり懇談会を開催しました!



第1回懇談会では、今後の伏木地区の「復興」を考える上で重要となる、「伏木をどうしていきたいか」という将来像を、地域住民の方々と一緒に話し合いました。たくさんのご参加、ありがとうございました!

懇談会の内容



大学による調査・活動報告

「伏木まちめぐりマップ」の発行、9自治会への被害・生活調査結果、調査結果を基にしたまちづくりデザインワークショップなど、大学による昨年度の活動報告を行いました。



まちづくり懇談会

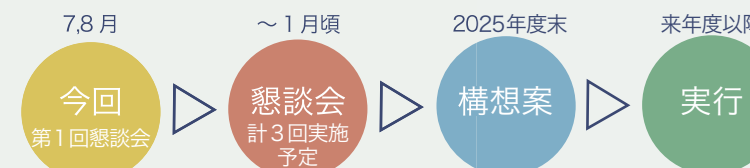
懇談会では、多くのまちの課題を共有し、また、地域の資源を活用したまちづくりのアイデアがたくさん出ました。詳しい内容は次のページにまとめました。

開催概要

液状化の被害が大きかった9つの自治会を中心に、6回に分けて第1回まちづくり懇談会を行いました。

日程	参加自治会	人数
7月23日	玉川自治会	18名
7月28日	湊町自治会	16名
8月4日	駅前自治会 古国府中部自治会 新島自治会	14名
8月8日	石坂自治会 新町自治会	12名
8月9日	中道自治会 臥浦自治会	13名
	全自治会	14名
		合計：87名

そもそも「まちづくり懇談会」とは?



伏木地区の将来の姿を住民の皆さんと一緒に考え、その実現に向けてどのような取り組みが必要かを話し合う会です。その中で、それぞれの活動がどのような未来につながるのか、どのような意味を持つのかを共有し、今後の活動をより意義のあるものにしていきます。こうした取り組みを通じて、まち全体を俯瞰しながら活動の方向性を整理し、「まちづくり構想案」としてまとめ、今後のまちづくり活動の推進につなげていくことを目指しています。

LINE アカウントを
作成しました!



月に2回程度、私たち大学の活動や伏木でのニュースをお届けする予定です。
友だち登録してお待ちください!

伏木の今と未来想像マップ

第1回懇談会で参加者の皆さまからお聞きした、伏木のまちの魅力や課題、今後やってみたいことをまとめたマップを作成しました。ぜひあなたの思いも重ねながら、ご覧いただけたらと思います。

凡例

やってみたいこと

まちの魅力

お祭りの継承と魅力を発信したい！



曳山や獅子舞などのお祭りの後世への継承や、外部への発信に取り組んでみたい。

集える場所を作りたい！



公民館が解体されてしまった中道や石坂自治会で、気軽に集まれるような場所を作りたい。

伏木の歴史を伝えたい！

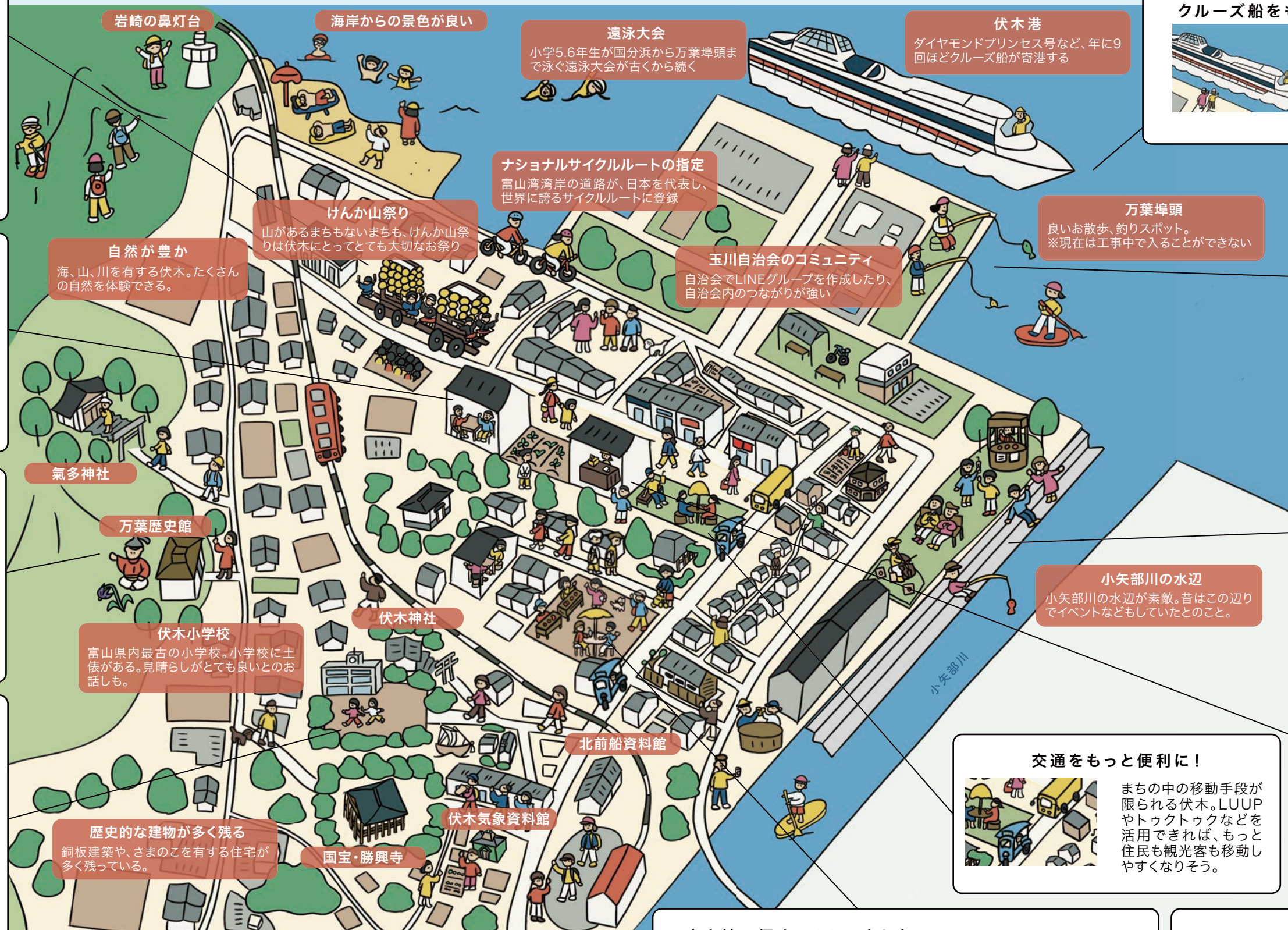


大伴家持のゆかりの地でもある伏木。伏木の歴史を様々な人に伝える活動をしたい。

伏木小学校跡地を活用したい！



中学校との統合により使用されなくなる伏木小学校の跡地を、資料館や宿泊施設など、異なる用途で活用したい。



現状・課題として多く挙げられた意見

空き地の増加・管理

解体が進み空き地が増加している。また、雑草などのお手入れなど空き地の管理が課題となっている。

自治会活動の負担増

転居に伴う住民の減少により、自治会活動や活動費用などの負担が増えている。

お店の減少

多くのお店がなくなってしまい、日常生活に必要なものが購入できる店舗がなくなってしまっている。

※懇談会でいただいた意見の一部を抜粋し、掲載しています。それぞれの場所はイメージであり、実際に活動を検討している場所とは異なるものもあります。